

学校 教育 目標	洋々たる未来を 光り輝いて生きる力の 土台をつくります <具体目標> 【知】基礎基本をしっかりと学び、最後まであきらめず取り組む力をつけます 【徳】他者を思いやる心を持ち、善悪を正しく判断する力をつけます 【体】規則正しい生活をし、自他の生命や体を大切に力をつけます 【公】郷土を大切にし、社会の役に立つ行動をとることができる力をつけます 【開】コミュニケーション能力を身に付け、国際社会で生きる力をつけます			
	学校概要 創立 48 周年 児童生徒数： 330 人	学校長 西山 雅人 副校長 戸田 道子	3 学期制 一般学級： 9 個別支援学級： 3	主な関係校： 横浜市立洋光台第二小学校・横浜市立洋光台第四小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋二中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自ら学びに向い高めようとする力> <身に付いた知識・技能を活用する力> <社会に関心を持ち貢献する力>	洋光台第二中学校 洋光台第二小学校 洋光台第四小学校	認め合い、学びあい、心身共に健やかに生きる子ども ・道徳教育や人権教育を通じた自尊感情や自己有用感を高める教育の実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指した指導法改善や授業研究の取組 ・9年間の成長を見通した児童生徒指導や特別支援教育の情報交換の実行

中期 取組 目標	○「誰もが安心して豊かに、楽しく生き生きと生活できる学校」をめざします。 ○「学校職員こそ、子どもにとって最大・最高の教育環境」という自覚と誇りを胸に、日々の教育活動を実践します。 (1) 授業力・学級経営力・生徒指導力の向上を図ります。 (2) 「挨拶」「清掃」「時間管理」など職員が率先垂範して生徒の意識と意欲を喚起します。 (3) 日々の校内巡回や施設点検に努めて、環境整備・環境美化を強化します。 (4) 先見性と俯瞰性をもった組織運営を推進します。 (5) 「誠意・熱意・創意」を常にして信頼される学校を目指します。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①生徒の主体的学びを支え、身についた資質・能力を活用できる授業を展開する。 ②個に応じた支援を充実させ、「学習への意識」や「生活への意識」を向上させる。 ③計画的な学習への取組や反復練習により、基礎基本の定着を図る。
担当	学習担当	
徳	豊かな心	①特別な教科「道徳」の授業を通して他者を思いやる心を育て、豊かな人間関係を作ることができる生徒を育てる。 ②各学年に応じた人権講演会を企画し、3年間を見通して継続的に人権について考える流れを作る。 ③学級活動や部活動、学校行事を通して互いを認め合う関係づくりを進める。
担当	道徳担当・人権担当	
体	健やかな体	①新体力テストを基に、生徒一人ひとりの目標を定め、自己の課題を認識し実践する。 ②体育祭を中心とした体力向上と一校一実践運動の「サーキットトレーニング」を通して体力の向上を図る。 ③体育・健康プランを中心に、継続した運動習慣と、健康の保持増進に努める。
担当	保健体育	
公	国際教育	①国際教室の充実を図り、関係機関との連携を進めながら、個々の生活能力・学習能力に応じた指導に努める。 ②自国の文化や母語を大切にさせつつ、国際交流できる教育活動の場を確保する。 ③日本語理解が十分に理解できない保護者へは通訳配置などの支援を行う。
担当	国際担当	
キャリア教育		①職業調べ・職業講話、進路学習など発達段階に応じた学習を進め、3学年では進路実現につながる情報を提供する。 ②図書室内に「キャリア学習コーナー」を設け、情報提供を行う。 ③自己の興味や関心、特性を理解させ進学や将来の職業観などキャリアアップへの展望をもたせる。
担当	進路担当	
特別支援教育		①持続可能な特別支援教室の運営を図り、不登校生徒の登校支援に限らず発達障害や学習障害への対応も進める。 ②特別支援シートを活用し、個々に応じた支援の方法を探る。関係諸機関との連携を円滑にする。 ③③生育過程や家庭環境など、さまざまな背景を抱える生徒への理解を深める。
担当	特別支援担当	
教育環境整備		①安全・安心で効率的な教育環境の保障のため定期的な施設点検に努め、また余剰教室など学校施設の有効活用を図る。 ②校内の掲示物や美化活動を生徒会と連携しながら見直す。 ③職員室の情報機器を活用し、「ミライム」による職員間の情報共有化を図る。
担当	保健・安全	
学校地域連携事業		①放課後学習支援室の持続可能な運営と、子どもの居場所づくり・学習保障の両立を図る。 ②区役所と連携し、ボランティア活動を通して地域と子どもがつながる「あすかつ」を運営する。 ③学校運営協議会のより円滑な運営と学校評価を適切に活用し、特色ある魅力的な学校創りに活かす。
担当	管理職・地域連携チーム	
いじめへの対応		①生徒一人ひとりの状況記録を作成し、特に支援が必要な生徒には、校長を中心とした校内委員会支援を進める。 ②生徒の状況を適切に把握し、人間関係の変化などを敏感に察知する。 ③いじめを認知した場合、被害生徒・保護者に寄り添い加害生徒の指導とともに生活環境を改善を図る。
担当	生徒指導	
人材育成・組織運営 (働き方改革)		①メンターチームの活動を通して効果的な人材育成を図り、主幹教諭やミドルリーダーの資質向上にも繋げる。 ②教育の質を向上のための校内研修や授業力改善・向上のための研究授業を計画的に進める。 ③部活動ガイドラインの順守や校務のデジタル化推進により業務負担の軽減化を図る。
担当	管理職	